

家畜衛生便り

No.386 令和5年4月27日発行

西部家畜保健衛生所

○吉野川庁舎

〒776-0002 吉野川市鴨島町麻植塚136-3

TEL 0883-24-2029 FAX 0883-24-1397

○東みよし庁舎

〒779-4703 三好郡東みよし町中庄856-1

TEL 0883-82-2397 FAX 0883-82-4843

家畜保健衛生所ホームページURL

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippanokata/sangyo/chikusangyo/7206483/>

ゴールデンウィークにおける 防疫対策徹底をお願いします！

高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、アフリカ豚熱、口蹄疫などの悪性伝染病の発生が、世界各国で続いています。

これからゴールデンウィークを迎え、人や物の往来が増え、家畜伝染病の侵入リスクが一段と高まることも心配されますので、改めて、防疫対策の徹底に努めましょう。

① 異状の早期発見、早期通報を徹底してください。

日々の健康観察を行い、特定症状等の異状が確認された場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に御連絡下さい。

<連絡先>西部家畜保健衛生所（24時間対応）

○吉野川庁舎 0883-24-2029

○東みよし庁舎 0883-82-2397

② 衛生管理区域に、必要のない人や物を入れないでください。

③ 野生動物の侵入対策を徹底してください。

④ 農場周辺の消石灰散布等、消毒を徹底してください。

⑤ 外国人従業員の方に対して、国際郵便物の中に違法な肉製品が含まれることのないよう、注意喚起してください。

⑥ 家畜伝染病の発生地域等への海外渡航を自粛してください。

高病原性鳥インフルエンザ について

(令和5年4月24日時点) **MAFF**
農林水産省

令和4年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

○家きん 26道県84事例

地域	疑似発生判定日	用途	羽数(約)	重型
1 岡山県倉敷市	10/28	採卵鶏	17万羽	HSN1
2 北海道厚真町	10/28	肉用鶏	17万羽	HSN1
3 香川県観音寺市	11/1	採卵鶏	4万羽	HSN1
4 茨城県かすみがうら市	11/4	採卵鶏	104万羽	HSN1
5 岡山県倉敷市	11/4	採卵鶏	51万羽	HSN1
6 北海道伊達市	11/7	肉用鶏	15万羽	HSN1
7 岡山県倉敷市	11/11	採卵鶏	3.4万羽	HSN1
8 和歌山県白浜町	11/11	あひる	約600羽	HSN1
9 兵庫県たつの市	11/13	採卵鶏	4.4万羽	HSN1
10 鹿児島県出水市	11/18	採卵鶏	12万羽	HSN1
11 新潟県新発田市	11/18	肉用鶏	15万羽	HSN1
12 宮崎県新富町	11/20	採卵鶏	16万羽	HSN1
13 青森県横浜町	11/20	肉用鶏	12.2万羽	HSN1
14 香川県観音寺市	11/22	肉用鶏	2.4万羽	HSN1
15 香川県観音寺市	11/23	採卵鶏	1.4万羽	HSN1
16 宮城県気仙沼市	11/23	肉用鶏	2.1万羽	HSN1
17 千葉県倉敷市	11/24	あひる(あいがも)	7万羽	HSN1
18 千葉県倉敷市	11/26	あひる(あいがも)	約200羽	HSN1
19 鹿児島県出水市	11/27	採卵鶏	47万羽	HSN1
20 福島県伊達市	11/29	肉用鶏	1.7万羽	HSN1
21 和歌山県和歌山市	11/30	採卵鶏	4.6万羽	HSN1
22 鳥取県鳥取市	12/1	採卵鶏	11万羽	HSN1
23 鹿児島県出水市	12/2	採卵鶏	12万羽	HSN1
24 鹿児島県出水市	12/4	採卵鶏	3.4万羽	HSN1
25 愛知県豊橋市	12/5	採卵鶏	31万羽	HSN1
26 佐賀県武雄市	12/6	採卵鶏	3万羽	HSN1
27 鹿児島県出水市	12/7	採卵鶏	6万羽	HSN1
28 福島県飯館村	12/7	採卵鶏	10万羽	HSN1
29 山形県鶴岡市	12/8	採卵鶏	2.7万羽	HSN1
30 鹿児島県出水市	12/8	採卵鶏	6.3万羽	HSN1
31 愛知県豊橋市	12/8	あひる(あいがも)	約1,000羽	HSN1
32 鹿児島県出水市	12/9	採卵鶏	22万羽	HSN1
33 香川県三豊市	12/11	採卵鶏	8万羽	HSN1
34 鹿児島県出水市	12/11	採卵鶏	2.2万羽	HSN1
35 青森県三沢市	12/15	採卵鶏	131万羽	HSN1
36 広島県宮野町	12/16	採卵鶏	12万羽	HSN1
37 沖縄県金沢町	12/16	採卵鶏	4.5万羽	HSN1
38 埼玉県深谷市	12/17	採卵鶏	19.4万羽	HSN1
39 鹿児島県南九州市	12/18	採卵鶏	3.5万羽	HSN1
40 福岡県糸島市	12/18	採卵鶏	5.4万羽	HSN1
41 鹿児島県姶野町	12/19	採卵鶏	7万羽	HSN1
42 広島県宮野町	12/19	採卵鶏	18.7万羽	HSN1
43 岡山県美作町	12/20	あひる(あいがも)	2.3万羽	HSN1
44 宮崎県日向市	12/21	肉用鶏	5万羽	HSN1
45 鹿児島県姶野町	12/21	肉用鶏	3.7万羽	HSN1
46 長崎県佐世保市	12/22	採卵鶏	2.7万羽	HSN1
47 茨城県笠間市	12/22	採卵鶏	11万羽	HSN1
48 福岡県糸島市	12/26	肉用鶏	3.8万羽	HSN1

○飼養鳥 6県10事例 ※詳細は環境省HP参照

検体採取場所	検体採取日	種名	病原性	重型
1 香川県丸亀市	11/7	ゴバクチョウ	HP/AE	HSN1
2 和歌山県白浜町	11/13	モモイロウシカン	HP/AE	HSN1
3 和歌山県白浜町	12/4	チーワラシゴ	HP/AE	HS
4 福岡県福城市	12/7	ゴバクチョウ	HP/AE	HS
5 千葉県葛飾市	12/17	ゴバクチョウ	HP/AE	HS
6 埼玉県宮代町	12/21	ペドクイワン	HP/AE	HS
7 埼玉県宮代町	12/21	ゴバクチョウ	HP/AE	HS
8 埼玉県宮代町	12/24	ゴバクチョウ	HP/AE	HS
9 東京都日野市	2/11	ツクシカモ	HP/AE	HS
10 東京都日野市	2/23	ソダグロワル	HP/AE	HS



令和4年10月28日以降、全国26道県84事例が確認されており、4月に入っても、その発生が続いています。

昨年、5月にも発生が確認されており、引き続き、警戒が必要です。

次の重点7項目の確実な実施、不備の改善等、飼養衛生管理基準の遵守をお願いします。

- 1 衛生管理区域に立ち入る者の**手指消毒**等
- 2 衛生管理区域**専用の衣服及び靴**の設置並びに使用
- 3 衛生管理区域に立ち入る**車両の消毒**等
- 4 家きん舎に立ち入る者の**手指消毒**等
- 5 **家きん舎ごとの専用の靴**の設置及び使用
- 6 野生動物の侵入防止のための**ネット等の設置、点検、修繕**
- 7 **ねずみ及び害虫の駆除**

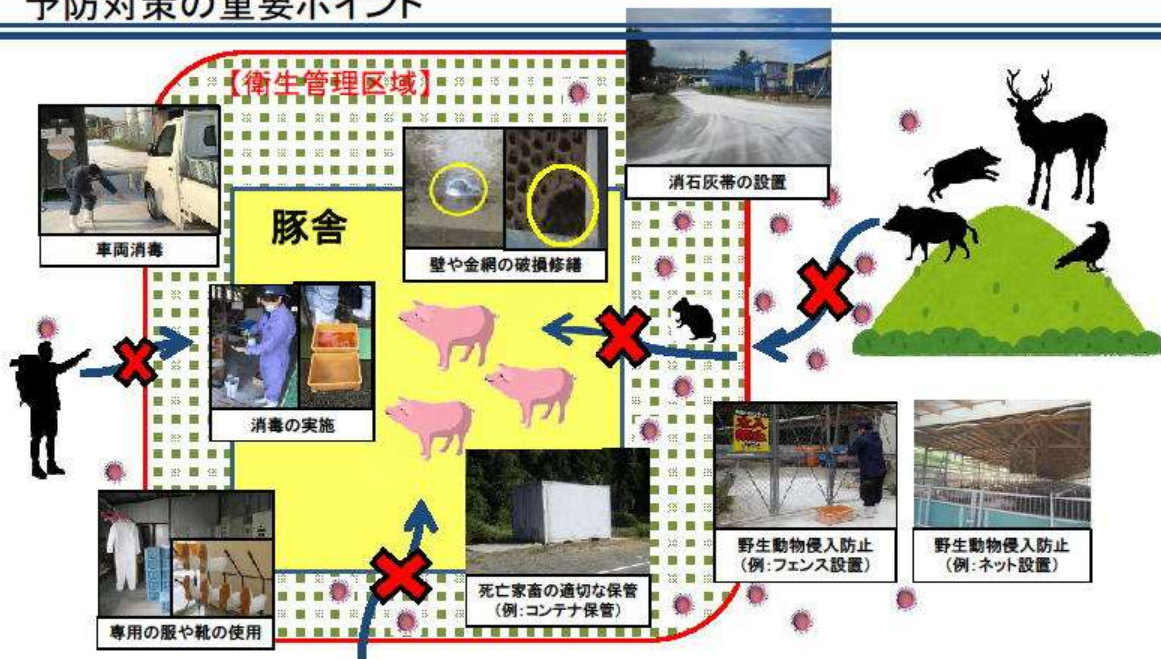
豚熱 について

令和5年3月には、茨城県かすみがうら市において、約半年ぶりとなる豚飼養農場での発生が確認されました。

野生いのししでは本県でも感染確認（28例目、R5.2.24、上勝町）が続いており、これからの季節は、野生いのししの活動がさらに活発化することから、農場における発生防止対策の徹底、適時・適正なワクチン接種が重要です。

今一度、飼養衛生管理基準の再確認・徹底をお願いします。

予防対策の重要ポイント



①人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ・衛生管理区域、豚舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底
- ・衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
- ・人・物の出入りの記録
- ・飼料に肉を含み、又は含む可能性があるときは、あらかじめ
摂氏70度・30分以上又は摂氏80度・3分以上の加熱処理を徹底

②野生動物対策

- ・飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物の混入防止
- ・豚舎周囲の清掃、整理・整頓
- ・死亡家畜の処理までの間、野生動物に煮らされないよう適切に保管

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう!

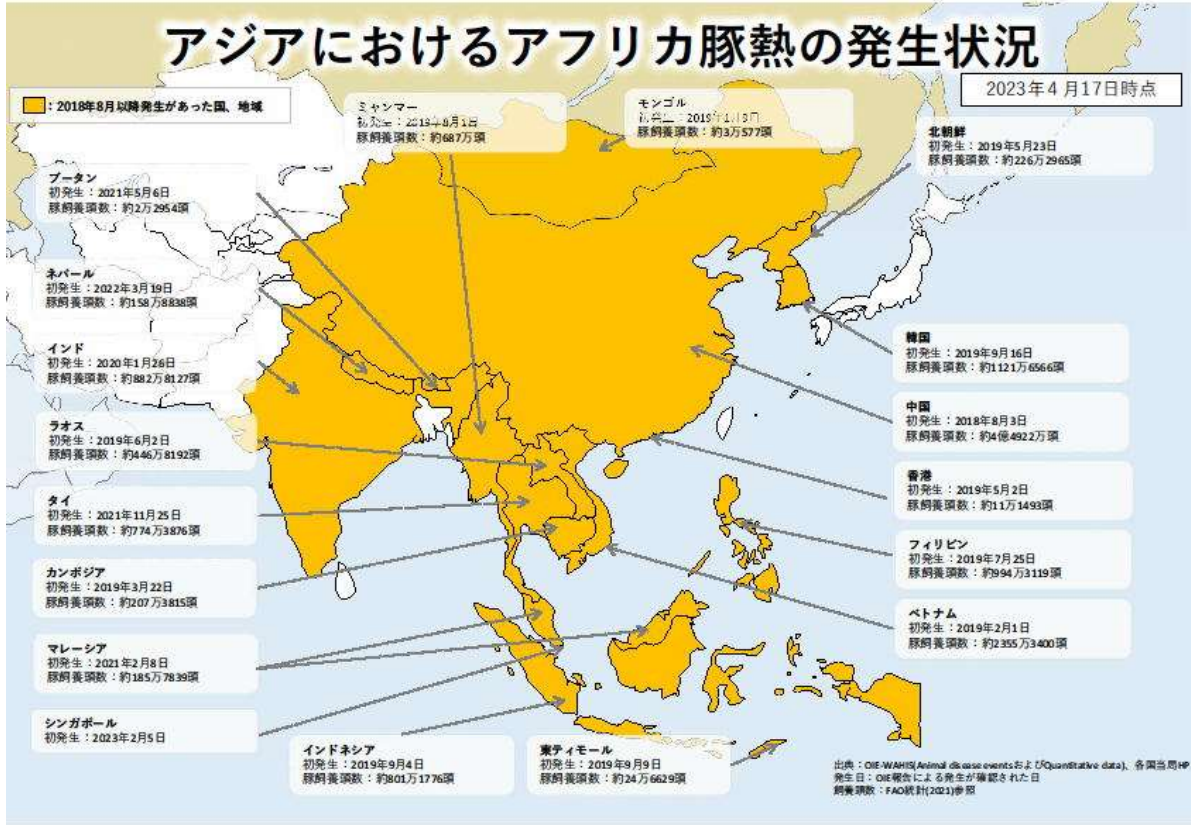


写真出典: 岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

アフリカ豚熱、口蹄疫 について

近隣国で継続的に発生、拡大しており、引き続き、日本国内への侵入に警戒が必要です。



アジアにおける口蹄疫の発生状況 (2019年以降)

